

平成18年度 施策評価表

所属 21100000

都市整備部 街づ調整課

施策	1136 交通安全							
区分								
対象	区民 平成17年4月1日現在 437,523人							
施策意図	交通事故が少なくなっている							
現状と課題	区内の交通事故発生件数・負傷者数は減少しているが、子ども・高齢者の歩行・自転車等による事故については、依然として増加傾向にある。交通弱者を守り、区民に交通安全意識を浸透させるためには、交通安全運動の充実及び交通安全施設の整備水準の向上等、ソフト・ハードの両面から施策の充実を図っていくことが求められている。							
成果指標	成果指標1：交通事故件数（区内で1年間に発生する交通事故の件数）成果指標2：交通安全マナーが守られていると思う区民の割合（マーケティング調査）							
目標達成状況	成果指標1 [件]	予定	平成17年度	平成18年度				
		実績	2,070.00	2,065.00				
	成果指標2 [%]	予定						
		実績	22.30	22.40				
	成果指標3 []	予定						
		実績	21.70					
	トータルコスト (千円)	予定			402,685			
		実績	338,355					
	施策の位置付け	区の関与度合	区と住民等との協働。区の一方的な押し付けでは事業目的は達成できない。交通安全は区民自らが自分を守ることから始まる。					
		区民ニーズへの貢献	非常に大きい。区民自らが自分を守ることが重要であるが、その前提としての交通安全施設の整備が必要である。あわせて啓発事業などソフト事業の充実が求められている。					
成果向上の必要性		向上必要。区民の生命を守ることは区の責務である。施設の安全管理とともに、区民への啓発を常に行う必要がある。						
成果向上の容易性		容易ではない。施設の充実在即費用に跳ね返り、区民意識の啓発は地道な努力を必要としている。						
位置付け総合評価	継続。交通安全については既存の安全施設の維持管理を確実に行うことが必要である。その上で、これまでの安全運動等啓発事業を効果的に運用していく事が必要であり、継続し、推進したい。							
施策目的達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	総合評価	
	113601	交通安全運動推進				6,669	6	
	113602	交通安全協会（葛飾・亀有）助成				2,460	5	
	113603	特定交通安全施設整備事業（あんしん歩行エリア整備事業）				15,710	5	
	113604	交通安全施設設置管理				232,009	5	
	113605	交通安全誘導委託				81,507	4	

【総合評価】6=拡充/5=継続/4=改善/3=再構築/2=縮小/1=廃止・休止/0=今回評価なし

コスト分析表

年 度 平成18年度

所 属 21100000

施 策 1136

都市整備部 街づ調整課

交通安全

期 間 平成17年度 ~ 平成18年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		8,800		
		都道府県支出金	(2)		0		
		地方債	(3)		0		
		その他	(4)		80,000		
		一般財源	(5)		301,240		
	直接費	事業費	(6)		251,425		
	職員人件費	人件費	(7)		138,075		
		再雇用職員分	(8)		540		
		(職員数：賦課)	(9)		18.45		
		(職員数：配賦)	(10)				
		職員数合計(9)+(10)	(11)		18.45		
	調整額	間接費	(12)		0		
		(加算)減価償却費	(13)		0		
		(加算)金利	(14)		0		
		(加算)退職給与引当	(15)		12,645		
		(控除)コスト対象外	(16)		0		
		(控除)雑収入	(17)		0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)			12,645		
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)			402,685		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	5,000			
		都道府県支出金	(21)	0			
		地方債	(22)	0			
		その他	(23)	80,000			
		一般財源	(24)	238,639			
	直接費	事業費	(25)	178,495			
	職員人件費	人件費	(26)	144,585			
		再雇用職員分	(27)	560			
		(職員数：賦課)	(28)	18.75			
		(職員数：配賦)	(29)				
		職員数合計(28)+(29)	(30)	18.75			
	調整額	間接費	(31)	0			
		(加算)減価償却費	(32)	0			
		(加算)金利	(33)	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	14,715			
		(控除)コスト対象外	(35)	0			
		(控除)雑収入	(36)	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)		14,715			
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)		338,355			

施策名	交通安全
-----	------

担当課： 街づくり調整課

施策の達成状況

【達成度評価】
交通事故の発生件数が、目標をわずかに上回った。 今後目標達成に向けて一層の執行努力を必要とする。

構成事務事業の施策成果貢献度 (事務事業を相対評価し、該当する位置に記載)

事務事業の成果向上の余地	大		交通安全運動推進	
	中	交通安全協議会(葛飾・亀有)助成 交通安全誘導委託	あんしん歩行エリア整備事業 交通安全施設設置管理	
	小			
		小	中	大
施策成果への貢献度				

構成事務事業の次年度方向性 (事務事業を相対評価し、該当する位置に記載)

事務事業の成果の増減方向	向上	交通安全運動推進 あんしん歩行エリア整備事業		
	維持	交通安全協議会(葛飾・亀有)助成 交通安全施設設置管理 交通安全誘導委託		
	減少			
		減少	維持	増加
事務事業のコストの増減				

【次年度方向性の考え方】
子ども・高齢者の事故防止を目指し、引き続き交通安全運動の充実及び交通安全施設の整備水準の向上に努める。